

2019年12月16日

川崎市 長 福田 紀彦 殿

宮前区役所・市民館・図書館移転に反対し鷺沼駅前再開発を考える会

共同代表：小久保善一・秋好賢一

鷺沼駅前再開発事業に関する公開質問の申し入れ書

川崎市におかれましては、住民が暮らしやすい街づくりに向けた日々のご努力に敬意を表します。

さて、川崎市は2019年3月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を決定しました。移転先となる鷺沼駅前再開発の具体的な全体像について住民説明を一切せず、住民の反対を押し切って区役所・市民館・図書館の移転を決定しました。

同年8月、環境アセス手続きの段階になって初めて準備組合の東急（以下東急とする）が計画概要を発表しましたが、2棟の超高層タワーマンション（146m37階建てと92m20階建て）であることに市民は驚き、唖然としています。

溝の口ノクテイビルの2.5倍、霞ヶ関ビルと同じ大規模なビルが、どうして必要なのか。しかも商業フロアは少なく、圧倒的なフロアがマンションです。

鷺沼再開発は、区役所等公共施設を取り込み、多額の税金を使う、非常に公共性の高い事業です。

ところが、準備組合の主体である東急が今だに住民説明会の開催を拒否し続けていることは到底納得できません。しかも、川崎市がこの異常事態を放置しているばかりか、これを容認していることには驚きを禁じえません。

以下公開質問の形で市民の疑問にお答えいただきたく申し入れます。

文章による回答は、12月23日までをお願いします。

なお回答は、文書回答の送付にとどめず、宮前区内で住民集会を開催し、公開の場で口頭説明するとともに、参加者との質疑応答が保証される形でなされることを強く要望します。説明会の実施は、「考える会」との事前うち合わせのうえ、1月27日までに実施していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

連絡先：宮前区役所・市民館・図書館移転に反対し鷺沼駅前再開発を考える会
事務局長 猪俣 博